令和5年度 放課後等デイサービス自己評価表(チャーリースクエア)

回答人数:10名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫をしている点など	今後に向けて
環境・体制整備	1	利用定員と活動ルーム等のスペースとの関係が適切であるか。	4	5	0		
	2	職員の配置数が適切であるか。	2	4	4	・その日の利用人数や特性に合わせて職員の応援を要請している。 ・常に欠員がいる状態で足りていない。制度上必要な人数を実働でおいて欲しい。 ・現場に出る職員数が足りないと感じる。	・利用者様の情緒面への配慮や利用人数により、法人内の他部署からの応援をもらいながら、安全にサービスが提供できるように努めていきます。
VĦ	3	事業所の設備等はバリアフリーの配慮 が適切になされているか。	3	6	1	・手洗い場が水しか出ない。 ・体の大きさにあった机やいすを配置する必要 がある。	・ロッカーや棚等使いにくい部分もある為、今後は改善に努めてます。
業 務 改	4	保護者向け評価表やニーズ調査票を活 用し、子どもや保護者の意向を把握 し、業務改善につなげているか。	7	2	0		・部署内の職員間で目標の確認と振り返り、見直しを徹底していくよう努めます。
善善	(5)	職員の資質の向上を目指し、研修の機 会を確保しているか。	1	7	1	・特にしていない。	・研修等の機会を増やしていきたいと考えています。
児童発達	6	アセスメントを適切に行い、子どもの 課題や保護者のニーズを客観的に分析 したうえで、放課後等デイサービス計 画を作成しているか。	2	0	0		
支援管理	7	子どもの個別活動や集団活動、生活支援の状況を十分に把握し、目標を設定しているか。	1	1	0		・抽象的な目標になってしまう事もある為、具体的かつ スモールステップの目標設定を個々に合わせて考える。
責 任 者	8	定期的にモニタリングを行い、放課後 等デイサービス計画の見直しを行って いるか。	2	0	0		

適切な支援		9	活動プログラムの立案をチームで行っ ているか。	4	3	0	・積極的にチームでコミュニケーションを取る ように努力する。	
	指導員	(10)	活動プログラムが固定化しないように 工夫しているか。	3	4	0	・活動内容をリスト化している。・曜日によって偏りがある。月単位でプログラムを考えていく。	・充実した話し合いや打ち合わせができるよう時間をしっかり と取り、活動プログラムの見直しに努めます。
		11)	平日、休日、長期休暇に応じて活動を 設定し、細やかな支援を行っている か。	4	3	0	・設定は変えているが細やかな支援が毎回できているわけではない。	
		12	支援前に職員間で打ち合わせをし、そ の日に行われる支援の内容や役割分担 について確認しているか。	7	3	0		
	全員	13	支援終了後には、その日に行われた支援の振り返りを行い留意点を共有しているか。	5	5	0	・翌日の朝に振り返りを行っている。 ・その日に確認、共有はされていない。	・今後も利用事業所内だけの振り返りだけでなく、全事 業所でミーティングをおこない、情報の共有を行ってい きます。
			日々の支援に関して正しく記録を取り、支援の検証・改善につなげているか。	5	5	0	・ケース記録など数日分まとめて記録することがある。	・日々の記録を正しく残せるように、その日のうちに取 り組むよう徹底していきたいと思います。
			チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫をしている点など	今後に向けて
		15)	サービス担当者会議に、その子どもの 状況に精通した最もふさわしいスタッ フが参画しているか。	6	3		・児発管しか出席していない。 ・児発管が担当職員と打ち合わせを行い、留意 点を抑えて参加している。	・担当者会議への参加も、開催される時間帯によって担 当職員が参加ができるように努めます。
光	秦幾	(16)	学校との情報共有・連絡調整を適切に 行っているか。	5	4	0	・引継ぎが上手くいっていないこともある。	・送迎時等に学校の先生との引継ぎをしっかりと密に行い、全職員へ周知し情報の共有ができるように努めます。
		(17)	相談支援員等から就学前の様子を聞き 取り、情報共有しているか。	5	4	0		・相談支援員からの情報を、全職員へ周知し情報の共有 ができるように努めます。

係機関・保護者との連携	(18)	学校を卒業しサービスを移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	6	3	0		・卒業を迎える利用者様の移行会議に参加をしている。 職員全員へ情報共有ができるように努めます。
	19	児童発達支援センター(※1)や発達 障害者支援センター(※2)等の専門 機関と連携し、助言や研修を受けてい るか。	0	5	4	・地域との連携に不安がある。	・事業所内での事案に対する助言を関係機関にいただく ことはあるが、専門的な知識を職員が持てるように、研 修の機会を増やしていきます。
	20	日頃から子どもの状況を保護者と伝え 合い、発達の状況や課題について共通 理解をしているか。	7	2	0	・主に送迎時に日々の引継ぎを職員、保護者間で細かく行っている。	・不十分な部分もあるので、より様子を保護者様に伝え ていけるよう工夫し、改善に努めます。
	21)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	1	3	5	・機会がない。	・研修会に参加をし、支援ができるように努めます。
保護者への説明責任等	22	運営規程、支援の内容、利用者負担額 等について丁寧な説明を行っている か。	4	5	0	・保護者から「わからない」と言われることがある為、もっとわかりやすい説明が必要。	
	23	保護者からの子育ての悩み等に対する 相談に適切に応じ、必要な助言と支援 を行っているか。	5	4	0		
	24)	子どもや保護者の思いをきちんと受け 止めるための配慮がなされているか。	5	4	0		
	25)	子どもや保護者からの苦情について、 対応の体制を整備し、周知・説明を し、苦情があった時に迅速かつ適切に 対応しているか。	5	4	0		
	26)	個人情報に十分注意しているか。	10	0	0		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫をしている点など	今後に向けて

	27)	緊急時対応マニュアル・感染症対応マニュアル等を策定し、保護者や職員にに周知・説明しているか。	5	4	0	・マニュアルについての周知がさらに行われるように、いつでも確認できる状態にしておくべき。	・法人内で策定したマニュアルを準備しています。また、都度見直しをおこないながら、職員へ通達を行っています。
	28	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練等が行われているか。	8	1	0		・今後も様々な災害を想定しながら、訓練を行っていきます。 色々な状況化でも安全に避難ができるように計画を行っていき ます。
非	29	虐待を防止するため、職員の研修機会 を確保する等、適切な対応をしている か。	6	3	0		
常時等の対応	30	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、 保護者に事前に十分説明し了解を得た うえで、放課後等デイサービス計画に 記載しているか。	9	0	0		
	31)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	5	0		・今後も、情報収集及び職員間での情報共有に努めてい きます。また、必要に応じ医師の指示書に従い支援を 行っていきます。
	32)	ヒヤリハット事例を随時報告し記録に 残し、事業所内で共有しているか。	8	1	0	・朝のミーティング時に報告している。	・毎朝のミーティングにて事例の報告を行っていますが、決まった時間だけではなく、気がついた際に報告や対応を職員が考え、またいつでも回覧できるよう記録を残し、事故が未然に防げるように努めていきます。

事業所名

チャーリースクエア 単位1 単位2